

活動報告書

団体名：相模原こもれび

活動場所	木もれびの森 活動地A地区・B地区						記録者	平野和夫
活動日時	令和3年6月23日(水) 9時～11時30分						天候	曇り
参加者	安達、伊藤、内間、神谷、黒岩、佐藤、白川、杉山、田中、中尾、平野、本田、松浦、目黒一玄、奈奈枝、						計15名	
活動内容	森林整備作業							
使用道具	刈払い機、手鎌							
機器操作者	刈払い機				チェーンソー			
	安達、内間、神谷、黒岩、佐藤、白川、杉山、中尾、平野、本田、目黒							
	A地区植生調査区	B地区オルガノ側	C地区	D地区	E地区	F地区	H地区	
作業内容	手鎌で下刈り	下刈り(機械)						

作業開始時：日当たりが良いため蔓と草が繁茂している。



作業後：胸丈まであった蔓と草を刈り見通しが確保できた。



<p>次回の予定 定例活動 7月10日(土)：活動地整備</p> <p>○当面の予定 定例活動 7月18日(日)、28日(水)</p> <p>●イベント 6月26日(土) ジュニアボランティア活動支援 7月10日(土) ボーイスカウト活動支援</p>	<p>報告事項・トピックス</p> <p>●A地区北西側「オカトラノオ」群生地のツボ刈りを手鎌で行った。</p> <p>●B地区住宅地～オルガノ側(ミズキ除伐地区)の下刈りを行った。</p> <p>この場所は前年度3年振りに下刈りしたため3か月延べ55人を投入して作業したところである。ミズキを伐採し日当たりが良いため蔓や草の成長が旺盛ではあるものの、今年是小木がまだ育ってなく昨年よりも下刈りの作業効率が高い。</p> <p>しかしながら、枯損木等を伐木して林床に置いてある材、切株、枯れ枝の存在が下刈り効率を落とすこと、刈刃が当たった時のキックバックによる危険から、除伐材を林内に置かず、できるだけ林外へ搬出することが望ましいと考える。</p> <p>晩秋から冬季の林床整理が重要であり、できる範囲で年1回は刈払いをする必要があると感じた。</p>
---	---